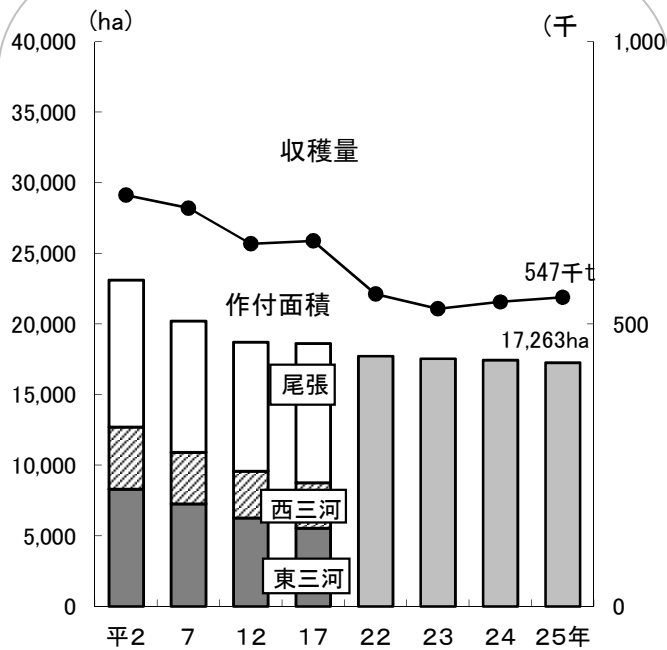


野菜

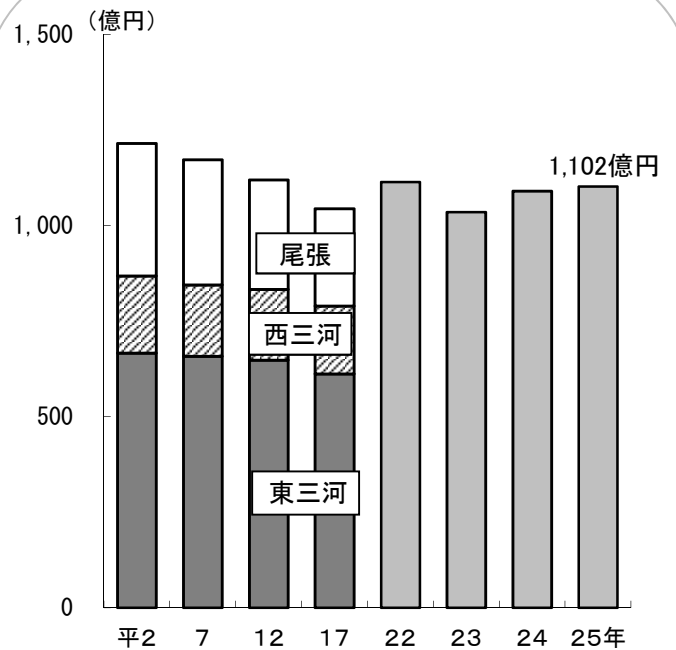
《野菜作付面積と収穫量の推移》



(出典：青果物生産出荷統計調査)
 (注)かんしょ、ばれいしょを除く。

作付面積・収穫量は微減傾向にある。平成25年については、作付はほぼ横ばいで、収穫量はやや増加した。
 なお、19年以降の市町村別統計が未公表のため、県全体とした。

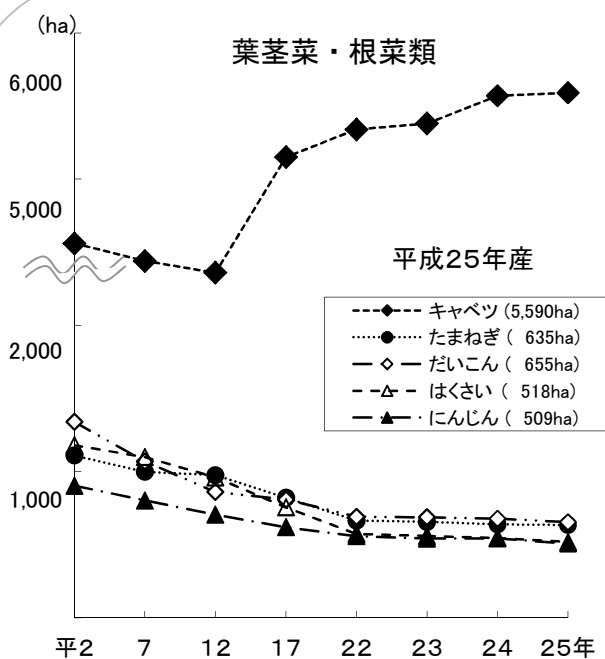
《野菜産出額の推移》



(出典：青果物生産出荷統計調査)
 (注)かんしょ、ばれいしょを除く。

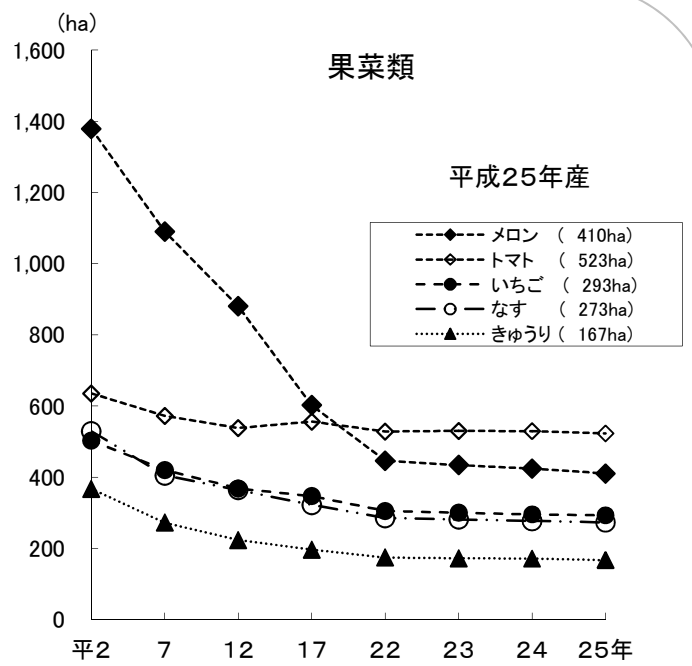
平成25年は、台風被害が見られた品目があったものの、概ね順調に生育し、入荷量は増加したが、価格は昨年並みを維持した。
 野菜全体では、前年よりも12億円増加した。
 なお、19年以降の市町村別統計が未公表のため、県全体とした。

《野菜主要種類別作付面積の推移》



(出典：青果物生産出荷統計)

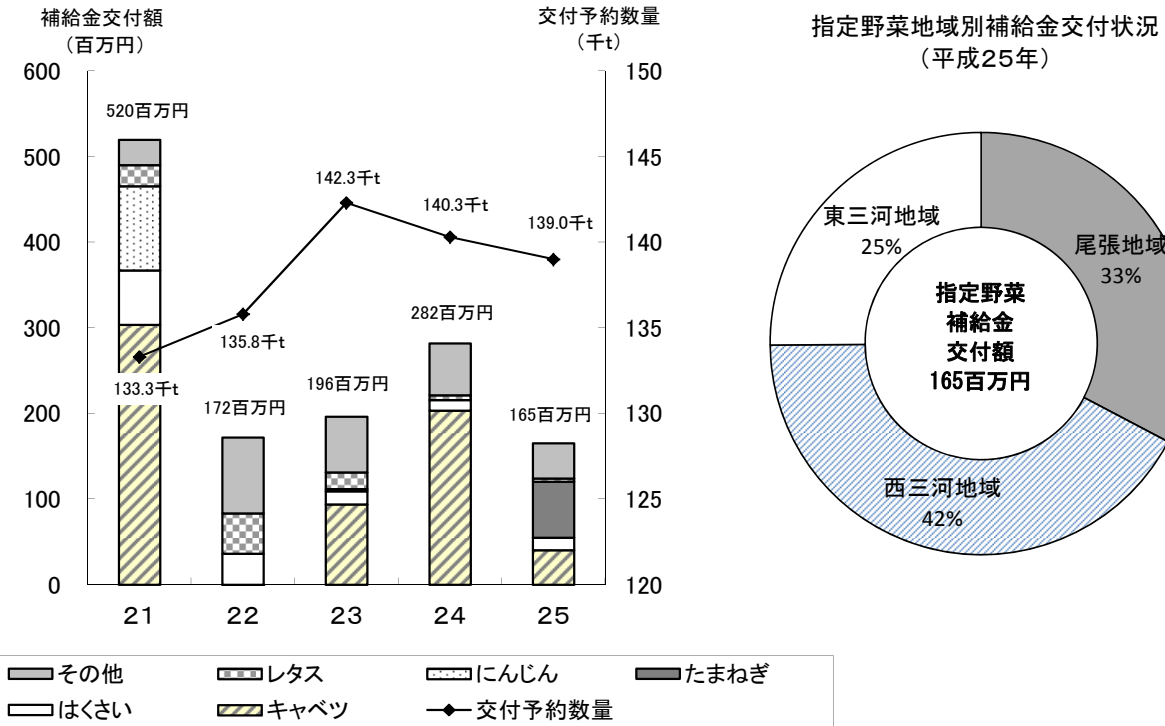
キャベツは増加傾向にあるが、たまねぎやだいこん、はくさい、にんじんの作付面積は、都市化の進展や生産者の高齢化等から減少傾向にある。



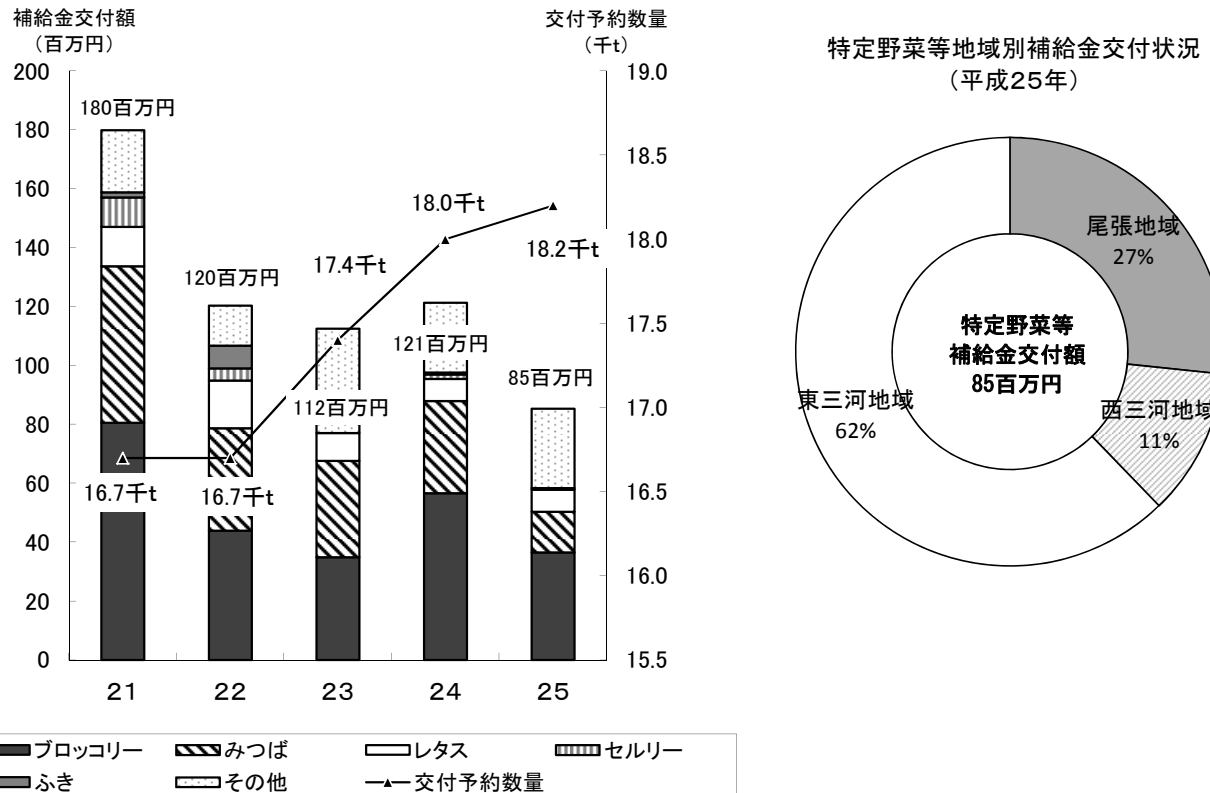
(出典：青果物生産出荷統計)

トマト、いちご、なす、きゅうりは微減傾向にある。
 メロンについては、昭和55年以降、作付面積の減少が続いている。

《指定野菜価格安定対策事業における交付予約数量、補給金交付額の推移等》

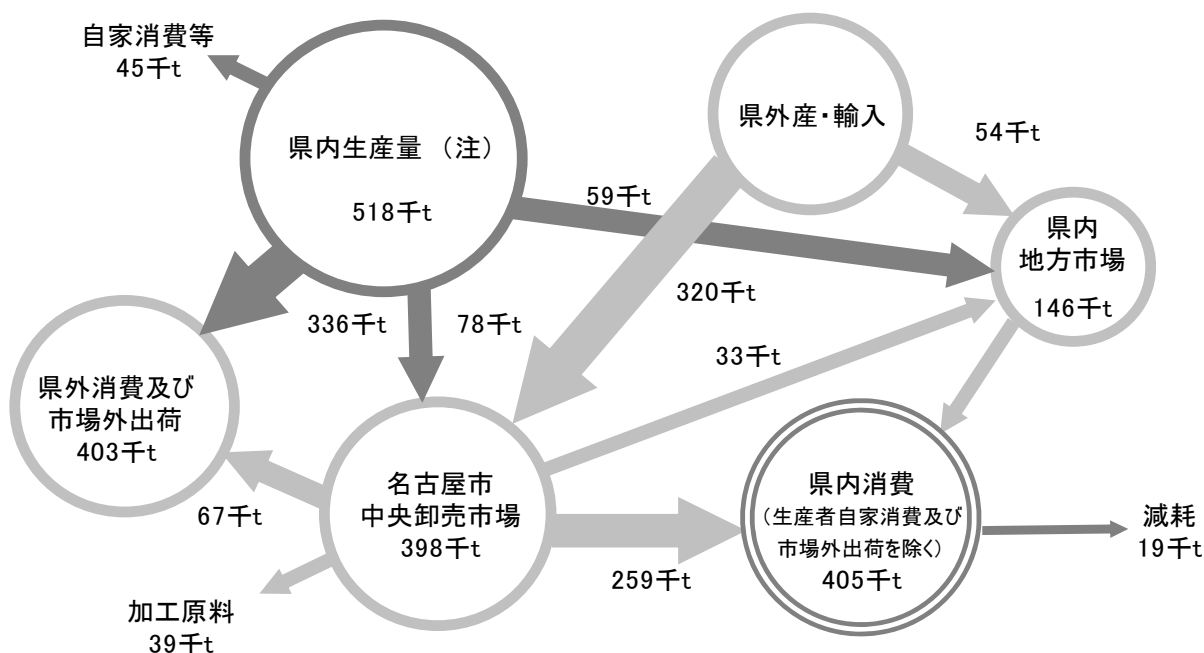


《特定野菜等供給産地育成価格差補給事業における主要種別交付予約数量、補給金交付額の推移等》



《野菜流通の概要》

(平成25年)

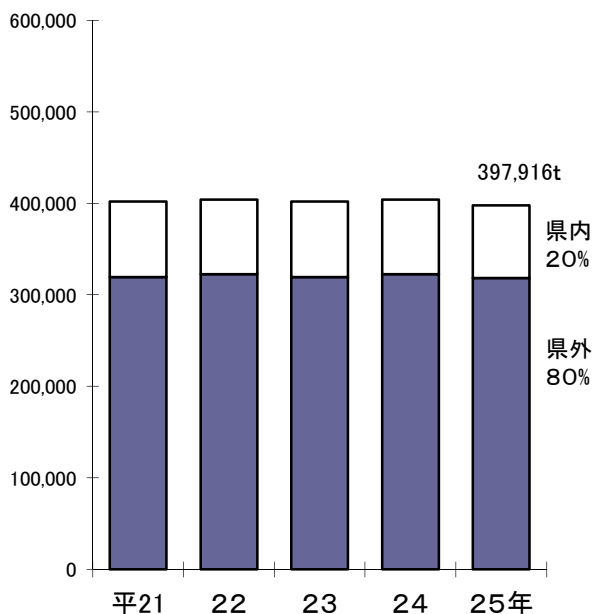


(出典:園芸農産課試算)

(注)農林水産統計で統計値がでている品目のみ(果実的野菜を除き、いも類を含む)

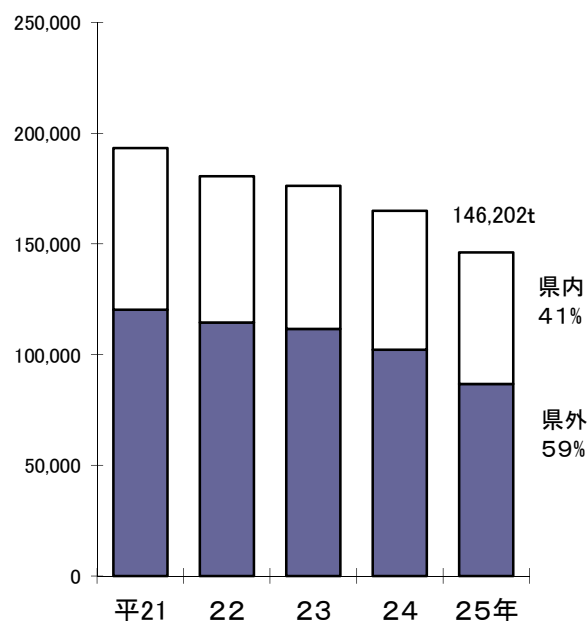
《県内市場過去5か年の入荷量推移と県内産野菜が占める状況》

名古屋市中央卸売市場における推移



(出典:名古屋市中央卸売市場年報)

県内地方卸売市場における推移



(出典:愛知県地方卸売市場年報)

卸売市場の取扱量は、実需者(量販店、外食産業、加工業者等)と生産者との契約取引などによる市場外流通の拡大もあり、減少傾向にある。更に、地方卸売市場は、販売基盤が脆弱なことから、荷が集まりにくく、減少の傾向は中央に比して大きい。